

江姫のふるさと、小谷より

須賀谷温泉 取締役 中西 恭子

今年も新しいNHK大河ドラマが始まりました。ヒロインは、江姫。私ども須賀谷温泉の目の前に聳えている小谷山が生誕の地です。このため地元は過去にない盛り上がりようで、まるで、江姫が400年ぶりに郷帰りしてきてくれたような、そんなわくわくした喜びで溢れています。織田信長を伯父に、豊臣秀吉を義兄に、そして徳川家康を義父にもつ江姫。天下統一を果たした三人の武将の影で冷静沈着に時代を見つめ人を見つめ、明るく強く行き続けた彼女の生涯がNHK大河で今後どのように描かれていくのでしょうか、とても楽しみです。

さて、私どもの周辺には江姫ゆかりの地がたくさんございますので、すこしばかりご案内させていただきますね。



姉川古戦場跡（浅井氏と織田氏の激戦の跡）

当館より車で10分ほどのところに姉川の古戦場があります。今の姉川は、清らかな澄んだ水が陽光を反射してキラキラと光りながら静かに流れているのみで、川の流れが真っ赤に染まり、両軍合わせて2,500人も犠牲者を出したという凄惨な戦いがこの場所で行われたことをとても信じるできません。地元では「姉川の合戦再見実行委員会」という会を立ち上げ（私自身もこの会のメンバーです）、織田・徳川コース、浅井・朝倉コースを歩く「合戦マップ」を作成したり、合戦に所縁のある場所に説明板を設置するなどして、訪れる人たちの利便性向上に日々努力しております。



小谷城址

地元の小谷城址保勝会の活動の歴史は古く、長年この山を大切に守られてこられました。番所跡、大広間・本丸・中丸、小丸などの史跡が当時のままに保存されているだけでなく、要所要所に道案内と説明の看板が立てられており、初めて訪れる人にも優しい山になっています。実際に歩いてみると、小谷城が難攻不落の名城と呼ばれた理由がよくわかります。蛇行しながら行く細く急峻な坂道。ゴツゴツと突き出た岩。次々と現れる大小さまざまな曲輪。攻めようとする者に対して自然の造作物と人口の造作物とが混然一体となって、あらゆる抵抗を試みようとする。この山は、山全体が城なのです。狭い山道を登りながら、ある時は攻める信長軍の気持になり、ある時は守る長政軍の気持になり、浅井氏が造ったこの芸術品のような城の雰囲気、思う存分に味わうことができます。残念なことに小谷城の遺構は櫓も石垣も長浜城や彦根城に転用されてしまい、今は往時の面影を残すものはほとんど残されていません。でも何も残っていないことが、かえって空想の自由をわたしたちに与えてくれます。何もないところに盛時の小谷城の姿を思い描き、そこに長政やお市の方、それに茶々、お初、お江の三姉妹を配してみるのもおもしろい試みではないでしょうか。ここの紅葉もおすすめです。小谷山登山口まで当館より車で2分です。



浅井長政公自刃之地

ここは、小谷城址の中で最も神聖なる場所かもしれません。本丸に向かうメインストリートの途中に、右側に折れる小道があります。赤尾屋敷跡に通ずる小道です。武運に見放されもはやこれまでと悟った浅井長政が最期の場所として選択したのが、家臣である赤尾氏の屋敷でした。メインストリートから赤尾屋敷跡までの僅か 100m の道程を、長政はどんな気持ちで奔ったのでしょうか？ 今でも一歩足を踏み外せば遥か崖下に転落してしまいそうな細い峠道を、失意の長政は必死の思いで赤尾氏の屋敷まで急ぎました。後世に生えた木々がすでに古木として林立する赤尾美作守の屋敷跡には、「浅井長政公自刃之地」の石柱が建つのみです。静寂が支配し、訪のう者も稀なこの空間で、浅井長政は 29 年の短い生涯を終えました。その場所がまさにこの地なのだと思うと、万感思いが重なって、胸が詰まる思いがします。



実宰院（じつさいいん）

父の浅井長政が小谷城で自らの命を絶った時、お市の方とその娘たち（茶々、お初、お江）は、どのようにして城を抜け出したのでしょうか？肉親と今生の別れを告げて、住みなれた城を後に落ちて行かなければならなかった 4 人の気持ちはいかばかりであったことか。戦国の世の常とは言え、考えるだにづらい、残酷な仕打ちでした。落城に際して長政は、姉である見久尼に三姉妹の養育を依頼したと伝えられています。実宰院にいる見久尼を頼って、茶々、お初、お江の三姉妹はお市の方とともに城を脱出し、そしてこの庵に匿われた三姉妹を、尼自らが養育したと伝えられています。質素な門をくぐると、すぐ正面に木造の本堂が見えます。落ち着いた風格のある本堂です。この本堂の中に、本尊である観世音菩薩像と淀君が寄進したとされる見久尼の像が安置されています。（当館より車で5分）



小谷山の麓に湧く須賀谷温泉

最後に私どもの温泉のご紹介をさせていただきます。当館の温泉はヒドロ炭酸鉄線といい鉄分を多く含むお湯で、源泉かけ流し式天然温泉です。湧き出てくるときは無色透明、空気に触れると赤茶色になるお湯で、戦国武将やお市の方、浅井三姉妹（茶々、初、江）も浸かったという謂れがあります。お湯の良さには定評があり、個人差もありますが、アトピー、神経痛、胃腸病によく効き、リピータのお客様も少なくありません。是非一度お立ち寄り下さいませ。



滋賀県・びわ湖・須賀谷温泉

須賀谷温泉

〒526-0277

滋賀県長浜市須賀谷町36

TEL: 0749-74-2235